

-Profile-



上馬場 啓介 Keisuke Uebaba (Soprano Saxophone)

“感性を紡ぐ音色に境界はいらぬ”クラシックを基点にジャンルを越えたサクソスはセンシティブでエモーショナル。ひとたび楽器を置けば親しみやすい表情を見せる。ソプラノ、アルト、テナー、バリトンの各種サクソによる演奏活動やレッスンを行う。ジャンルを越えた「ニュークラシック」を提唱、新しいサウンドを生み出すユニット“SAXAS”、映像、絵画と音楽の融合を目指す新しいユニット“negimaron”のメンバーでもある。第25回日本クラシック音楽コンクール全国第3位。第21回KOBE国際音楽コンクールC部門優秀賞受賞。第17回大阪国際音楽コンクール室内楽部門最高位。2021年には自身の出身地である豊中市でサクソフォンリサイタル～艶奏～を開催した。豊中市立芸術文化センター人材育成事業「とよなかARTSワゴン」レジデンス・アーティスト一期生。現在とよなかARTSワゴンアーティストバンク登録アーティスト。

中 桃子 Momoko Naka (Alto Saxophone)

三重県伊賀市出身。大阪芸術大学演奏学科卒業。同校卒業演奏会、第39回新人演奏会 in いが、第10回おおいた新人演奏会、第15回ドルチェデビューコンサートに出演。16歳の時に全日本高校選抜吹奏楽団の一員に選ばれスイス・ドイツへのコンサートツアーに参加。第19回中国音楽コンクールにおいて金賞及び神戸市長賞を受賞。第21回「万里の長城杯」国際音楽コンクールにおいて優秀賞を受賞。Japan International Music Competitionファイナリスト。2017年にタイのバンコクで開催されたAsia Pacific Saxophone Academyに参加。レポートを日本サクソフォン協会会報「サクソフォニスト」に寄稿。これまでにサクソフォンを川地立真氏、辻本剛志氏に師事。B.J.Choi、J.Hyde、P.Pellens、M.Ibrahim各氏のマスタークラスを受講。関西を中心にフリーランスとして演奏活動している傍ら、部活指導など後進の教育にも力をいれている。



森下 夕貴 Yuki Morishita (Tenor Saxophone)

大阪芸術大学芸術学部演奏学科管弦打コースを卒業。同校卒業演奏会、第32回YAMAHA管楽器新人演奏会に出演。第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。これまでにサクソフォンを辻本剛志氏に、室内楽を飯田憲司、前田幸弘各氏に師事。現在講師として指導にあたる傍ら、オンライン動画共有プラットフォーム「YouTube」などを中心に演奏動画を完全自己プロデュースで制作・編集を行い投稿。また、演奏した楽曲の譜面制作・販売等を実施し人気を博すなど、オフラインのみでなくオンライン上での活動も精力的に行っている。サクソ教室 Y's Studio 副代表。

玉田 敏洋 Toshihiro Tamada (Baritone Saxophone)

2014年大阪芸術大学卒業。同校卒業演奏会、東大阪新人演奏会に出演。第17回大阪国際音楽コンクール、アンサンブル部門において最高位を受賞。神戸船の旅コンチェルトの専属アーティスト。Kiss FM KOBE BS フジ放送のラジオ番組に出演。サクソフォンを辻本剛志、飯田憲司の各氏に師事。現在、関西を中心にソロ活動やアンサンブル、中学、高等学校の吹奏楽レッスン等、幅広いジャンルで演奏活動を行なっている。

